

特別支援教育だより

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園・教育支援部 2012.12.4 第48号



冬の到来！



残暑厳しい中迎えた2学期も、最後の月になりました。本格的な寒さはまだまだこれから…。「寒い」といいながらも散歩やマラソン、球技を楽しむ子ども達の元気な姿を目にするとほっとします。

さて、本校の一大イベント「つばさ祭り」が11月10日(土)に盛大に開催されました。去年は台風被害で本来の形で開催することができず、2年ぶりとなりました。天気にも恵まれ、多くの方々に来ていただき、楽しくにぎやかな1日となりました。学習発表や模擬店などに取り組みました。小学部から高等部までの子どもたちのがんばりを見るなかで、改めて嬉しい成果や今後の課題を感じた一日でした。当日は保護者の方々や地域の方々をはじめ、高校生のボランティアなどたくさんの皆様に参加・協力いただき、誠にありがとうございました。

また、12月は学期末を迎え個別の指導計画の反省・検討・評価の時期となります。本校においても一人ひとりの児童・生徒について複数の目で見た今学期の評価を話し合っています。子どもたちへの取組や評価は、時間をかけて丁寧に見ていくことの必要性を改めて感じさせられます。日々の指導が目標に対してどうであったか。目標が適切か。評価するたびに実態把握、目標、指導計画等の見直しを行うことを大切にしながら、3学期につなげていきたいと思ひます。



【12～2月の予定】

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ・12月21日(金) 2学期終業式 | ・1月8日(火) 3学期始業式 |
| ・ 1月21日(月) 小学部公開体験授業 | ・ 1月22日(火) 中学部公開体験授業 |
| ・1月28日(月) 高等部入学願書受付(～31日) | ・ 2月8日(金) 高等部入学選考日 |
| ・2月22日(金) 高等部入学願書受付(～27日) | ・再募集分 |

*公開体験については、**体験日の1週間前まで**に本校担当者まで連絡をお願いします。

【TEL：小 67-1106(井上)・中 67-1107(坂口)】

*本校高等部へ入学を考えている場合は、**平成25年1月30日(水)までに教育相談**を受けていただきますようお願いします。

～「作業療法」ってなんだろう・・・？～

私は、昨年からつばさ学園で実習助手として勤務している、作業療法士の池田絵美です。つばさ学園で子どもたちと楽しい日々を過ごすようになり、あっという間に一年半が経過しました。学校で共に過ごし生活していく中で、医療、療育の視点から日々の生活に即した必要な訓練を少しずつ提案、助言しています。

ここ数年、県内の特別支援学校で勤務する自立活動実習助手の中にも理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）などのいわゆるメディカルスタッフの専門職が増えています。そこで、まだまだ認知されていない“作業療法”、“作業療法士”についてより多くの方々に知っていただけたらと思います。

最近“リハビリテーション”という言葉をよく耳にするようになりましたが、この言葉を聞いてどのような風景を思い浮かべるでしょうか。多くの皆さんがリハビリテーションの中の“理学療法（PT）”の訓練場面を想像されると思います。



趣味活動

では、“作業療法（OT）”とはどのようなもののでしょうか。作業療法の“作業（Occupation）”とは「何かをして時間を占める、費やす」という意味を持ちます。そこには、労働、日常生活はもちろん、や遊び、創造活動など人が人として生きていくために必要なあらゆるが含まれます。作業療法では、こうしたすべての“作業活動”を一人ひとりにあった、訓練の手段や達成目標にしています。



作業療法士が治療の対象とする人たちは、「生活に支障を感じているすべての人」です。そのため、あまり知られていませんが、多くの場所で作業療法士が活躍しています。身体障がい、精神障がい、発達障がい、老年期障がいなどの方に対して、医療をはじめ保健、福祉、教育、職業領域など幅広い領域で一人ひとりにあった作業療法（作業活動）が行われています。

生活に支障をきたしている
あるいはきたすことが予測される人

<p>体に障害のある人 Persons with physical disabilities</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中 ・パーキンソン病 ・リウマチ ・脊髄損傷 ・その他 	<p>心に障害のある人 Persons with mental disabilities</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症 ・躁うつ病 ・アルコール依存症 ・認知症 ・その他 
<p>発達期に障害のある子供 Persons with developmental disabilities</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳性麻痺 ・精神発達遅滞 ・自閉症 ・学習障害 ・その他 	<p>老年期に障害のある人 Persons with disabilities of older age</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症 ・脳卒中 ・骨折 ・その他 

<作業療法の対象となる人たち>

<作業療法士が発達障がい分野で働いているところ>

医療—	一般病院、小児病院、リハビリテーションセンター
保健、福祉—	肢体不自由児施設、重度心身障害児施設、保健センター、療育センター、デイサービス
教育—	特別支援学校、地域学校内特別支援学級、通級指導室、幼稚園、保育所
その他—	行政機関

～つばさ学園ではどんなことをしているの？～

つばさ学園には小学部から高等部までの知的障がい、肢体不自由の子どもたちが通学しています。小学部では車椅子を使っている肢体不自由の子どもたちの割合が多く、自立活動の授業の中で自分自身の身体を知る、意識する学習をしています。作業療法として、その自立活動の時間に機能訓練の指導をしたり訓練を行う際のポイントなどを支援したりしています。

高等部では作業活動の授業の中で重複障がいのある子どもたちを中心に、一人ひとりにあった活動や訓練を行っています。

また、年3回本校では県立草の実りリハビリテーションセンターの訓練の先生に訪問していただいて療育相談を実施しており、それを受けて学校生活、授業で取り組む際に訓練内容や訓練のポイントなどの支援を行っています。

校外支援としては地域の通級教室に通う個別指導が必要な子どもへの巡回相談をさせていただきました。学校での様子をお聞きし、また授業を見学して身体の状態の把握や学校で取り入れるとよい運動についてアドバイスをさせていただきます。



～身体を知ろう!! パート1～

“拘縮(こうしゅく)”について

本校に通う子どもたちは歩いたり、スポーツしたりとしっかりと身体を使って動くことができる子どもたちがたくさんいます。しかし、その子どもの中にも動きがぎこちなく、自分が思い描いている動きが正しくできていないことがあります。身体を上手く動かせない子どもたちは自分の動かしやすい、力の入りやすい動きに偏りやすい傾向があり、そのような動きの特徴を持つ子どもたちの中に“関節拘縮(かんせつこうしゅく)”の問題が挙げられます。



人は多くの骨とそれをつなぐ関節、関節を介して骨と骨をつなげる筋肉によって運動を行っています。器質的な要因によって筋肉の質的变化が生じたり、自発的な運動機会が減少したりすると筋肉が短くなってしまいます。通常、自発的な動きによって筋肉を伸び縮みさせて関節運動を行っています。その筋肉が短く縮んでしまうことによって関節が本来持つ可動範囲を失い狭くなったり、関節の動きがなくなり固まったりします。このことを関節拘縮と言います。その関節拘縮と大きく関わっているのが“筋緊張(きんきんちょう)”です。筋緊張(筋肉の緊張状態)は運動のスピード、感覚刺激、好き嫌いなどの心理的、情緒的な要因によって大きく変化します。

通常、人の筋肉は運動が行われる際にスムーズに動かせるように適度な緊張状態で準備されています。しかし、様々な要因でその筋肉の緊張状態が強い子や弱い子、あるいは変動する子がいます。筋緊張が強く(ストレッチしたときに抵抗感が強い)、自分の力で動かすことが難しい(運動の機会が少ない)関節は関節が狭まり拘縮になりやすいです。そのため、その子の身体の全身状態、筋肉の緊張はどうか、自分で動かしにくい部分はどこか、関節は固くなっていないかをしっかり把握していくことが大切です。自分の力で動かしにくい部分については、やさしくゆっくりとした動きで関節を動かしてあげることが拘縮予防につながります。また全身の筋緊張が強い子の場合、まずリラクゼーションを行い、緊張をできる限り取り除いてあげられるようにすることも大切なことと言えます。

肢体不自由の子どもたちの身体機能だけでなく、知的障がい、発達障がいの子どもたちについても感覚の問題やボディイメージの問題など多くの特徴を持つ子が多いです。集団に入ることが苦手な子や常に落ち着きがなく動き回っている子など、その子のたちの感覚的特徴を理解し、その上でどのようにしてあげることがよいのかを考えていくことが必要となります。その手がかりとして作業療法士の視点から今後いくつかのテーマを挙げ、役立つ情報を提供していきたいと思えます。子どもたちの理解につながるお手伝いができればと考えています。

【編集後記】

毎年、この時期になると月日の流れを早く感じ、寂しさやあわただしさを感じます。今回は本校の作業療法士 池田先生から「作業療法」の紹介をさせていただきました。ご意見等ありましたら下記までよろしくお願いいたします。

教育支援部

山本 淳子

TEL 65-1108

（編集後記）毎年この季節になると、月日があっという間に流れていくことに驚きと寂しさを感じます。4月から各所に行かせていただき、一緒に考えていく機会をいただきました。ありがとうございました。3学期もよろしくお願いいたします。支援だより等について御意見等あれば、下記までよろしくお願いいたします。

教育支援部 山本 淳子

TEL 0595-67-1108